

フィードバックから

1 設備等

- ① 施設・持参物の情報が事前に欲しい
- ② 開催スタイル（場所も含め）このままでよい

2 レクレーション

- ① フリータイム時のスポーツも良かった（2）
- ② BBQ時にスイカ・ビール以外のアルコールが欲しい

3 発表

- ① 質疑が聞き取りにくく、フロアでのマイクの使用も
- ② ポインター使用の徹底
- ③ 時間超過は2分で強制終了、発表時間厳守（3）
- ④ ショートもBPAの対象に
- ⑤ ショート、レビューの発表時間が短い
- ⑥ ショート廃止（2）
- ⑦ 質問者にもコンペがあっても良いのでは、若手からの質問が少ない
- ⑧ 専門分野外の人を理解を深めるため各分野で20～30分のレクチャー

4 プログラム・他

- ① 雨天時のプログラムも準備する
- ② フリータイムをプレゼンにまわして時間の確保
- ③ 休憩が多く取るのは良かった
- ④ 金曜日終了の日程希望
- ⑤ 3日目も夕食は欲しい
- ⑥ PI陣の参加が少ない
- ⑦ セッションを病原体で分けるのではなく内容で分ける

総括と今後の対応策

運営等は概ね好評だったので基本路線は来年も踏襲する。細かなところは頂いた意見に沿うよう善処する。特に、賞の対象にも関わってくるショートプレゼンテーションの取り扱いは抜本的に改善する。

フル（発表10分+討論10分）、ショート（5+10）、レビュー（5+10）を、フルは据え置きでショート（7.5+7.5）、レビュー（発表のみ10）とし、**ショートもベストプレゼン賞の対象とする。**

発表時間の厳守は研究者として義務。学会レベルの向上も考え、イエローカード、レッドカード導入を検討。しかし討論に関しては**発表の本質をついた重要なものについてはセッションリーダーの裁量で延長しても構わない。**これは本ワークショップの存在意義でもあると考える。

例年懸案となる若手の発言に関してですが、今年は少し進歩した印象を受けた。来年以降、質問だけに関わらず**印象的な言動に対してなんらかの賞を設定する事**を模索中。